

CBT 2823 / CBT - 0808の概要説明書

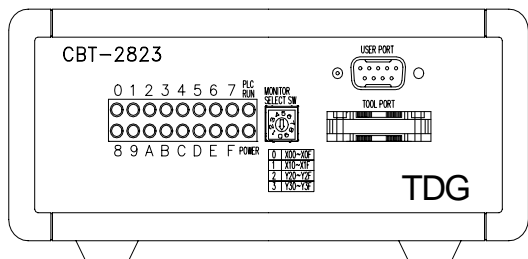
平成 20 年 10 月 27 日

技術部 武藤

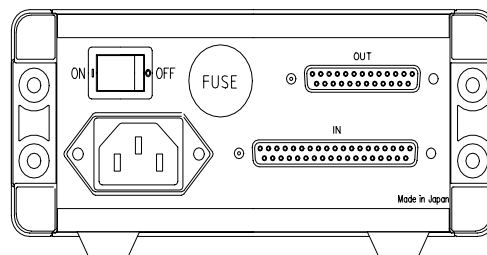
1. 装置外形

CBT - 2823

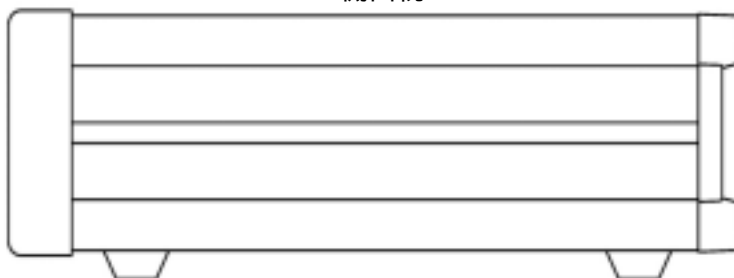
前面視



後面視

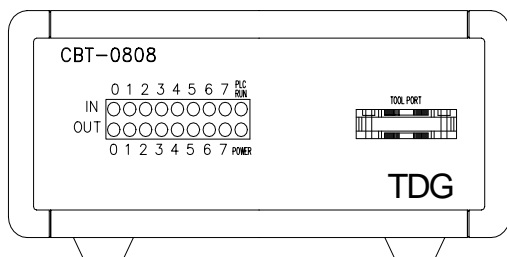


側面視

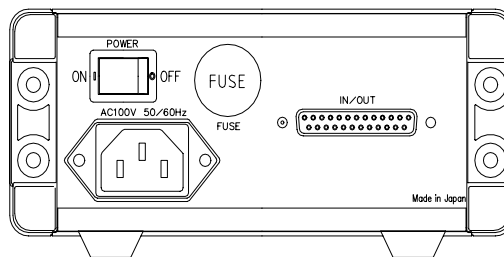


CBT - 0808

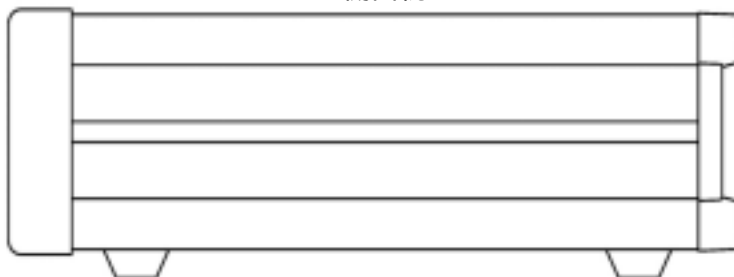
前面視



後面視



側面視



2. 特長

W161×D230×H66と超小型サイズです。

同等のシステムを他社のシーケンサで構成するよりも安価で製作できます。

付属ケーブルを家庭用電源AC100Vのコンセントをつなぐだけで動作します。

I/OはBOX内部の電源を使用しているため外部に電源を用意する必要はありません。ケーブルを接続するだけで簡単に利用できます。

三菱製ラダー作成ツール(GX-Developer)で作成したラダープログラムで動作します。(開発環境はTDG製開発プログラムを使用)

タッチパネルと通信を行えます。電源もコネクタに電源供給端子を用意しているため外部電源を用意する必要はありません。(タッチパネル接続ケーブルはオプションで販売します)

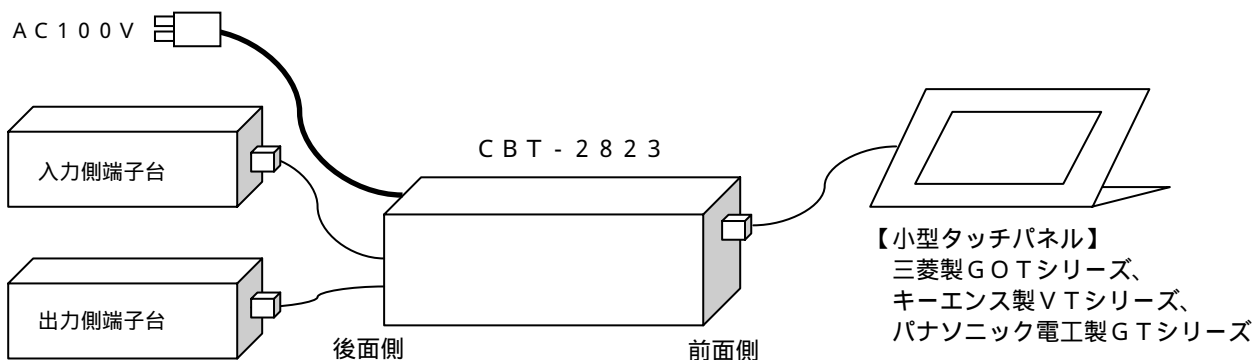
前面に入出力LEDを搭載していますので、動作の確認が容易に出来ます。

電源を落としてもデータが消えないラッチデバイスを使用できます。(CBT-2823のみ)

3. システム構成図

入力側 例) スイッチ、センサ、etc...

出力側 例) 表示灯、ブザー、リレー、ソレノイド、電磁弁、etc...

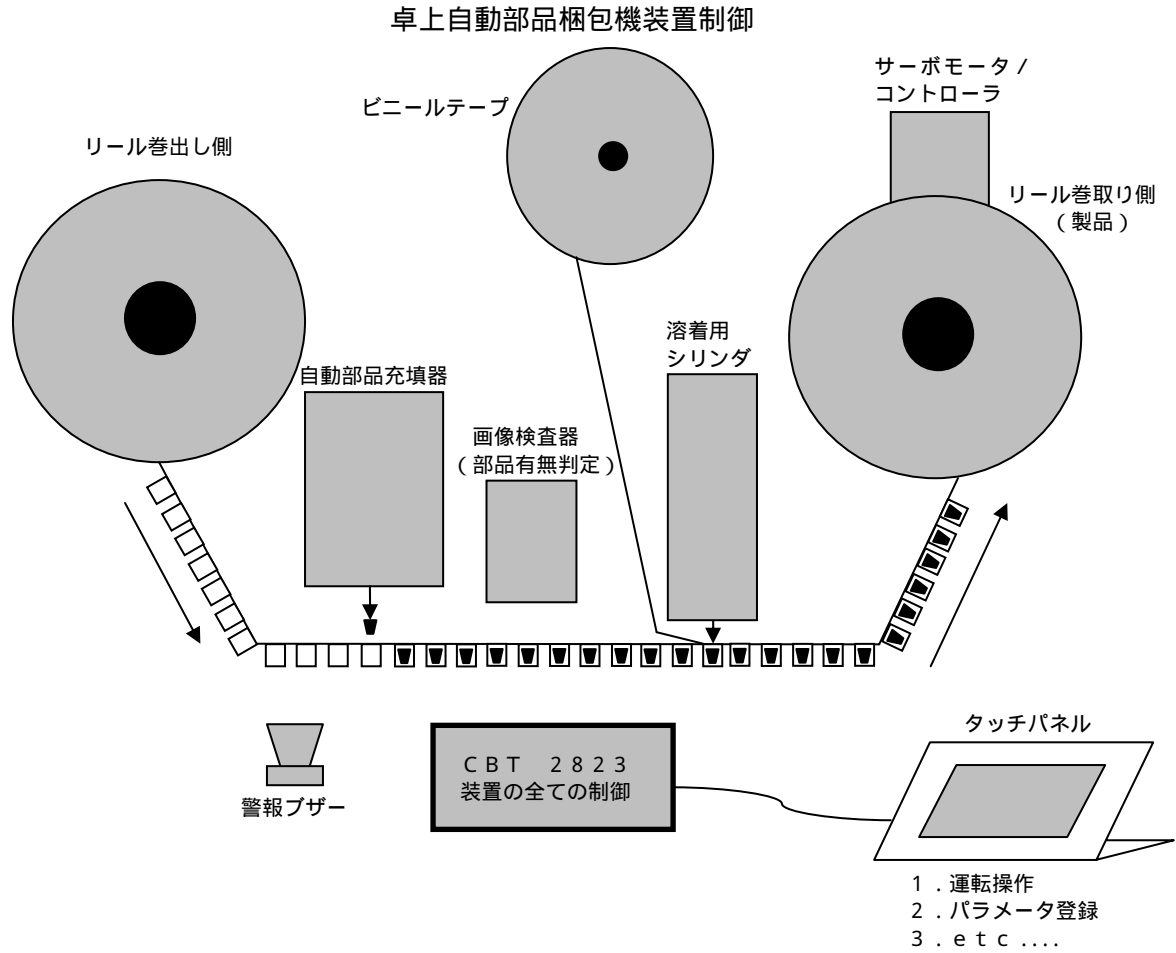


入/出力インターフェースについては中継端子台以外に「e-COM端子台」、
「バラ線」等のバリエーションに対応します。

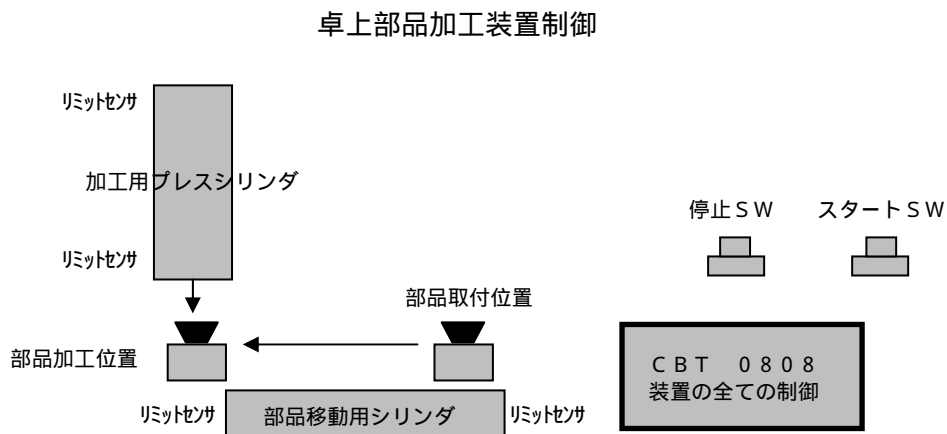
4. 使用用途

- a. 簡易メカ装置の制御部
- b. 試作品の制御部
- c. 検査装置の制御部
- c. 学習用教材

5. CBT - 2823 使用例



6. CBT - 0808 使用例



以上